

紀宝警察署協議会議事録

令和5年度第4回紀宝警察署協議会	
日時	令和6年2月19日（月）午後2時～午後4時 紀宝警察署3階会議室
出席者	<p>1 警察署協議会 5名 大峪やす子委員、奥西誠人委員、芝安博委員、 星山美穂委員、山中富行委員</p> <p>2 警察署 7名 署長、副署長、会計課長、警務係長、生活安全刑事課長、 地域交通課長、警備係長</p>
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開
議 事 概 要	
<p>1 警察署長挨拶</p> <p>2 管内概況の説明（警察署長）</p> <p>(1) 遺失・拾得届の受理状況 「令和5年中の遺失届の受理件数は293件（前年比－20件）、拾得届の受理件数は297件（前年比－30件）である。」旨説明した。</p> <p>(2) 警察安全相談の受理状況 「令和5年中の警察安全相談の受理件数は548件（前年比＋57件）で、主に特殊詐欺に関する相談、家族や近隣に関する相談、交通取締り要望などがある。」旨説明した。</p> <p>(3) 人身安全関連事案の対応状況 「令和5年中のDV事案は6件（前年比－1件）、ストーカー事案は4件（前年比－3件）、児童虐待事案は15件（前年比＋10件）、高齢者虐待事案は2件（前年比－5件）である。」旨説明した。</p> <p>(4) 不審者通報件数 「令和5年中の不審者通報件数は6件（前年比＋2件）である。」旨説明した。</p> <p>(5) 非行少年の情勢 「令和5年中の非行少年は3人（前年比＋3件）で、不良行為少年は8人（前年比＋4人）である。」旨説明した。</p> <p>(6) 刑法犯認知件数・検挙件数 「令和5年中の刑法犯認知件数は59件（前年比＋16件）、刑法犯検挙件数は51件（前年比＋23件）である。」旨説明した。</p> <p>(7) 特殊詐欺の認知件数 「令和5年中の特殊詐欺の認知件数は4件（前年比＋2件）である。」旨説明した。</p> <p>(8) 110番通報の受理件数 「令和5年中の110番通報受理件数は447件（前年比＋28件）で、そのうち、交通関係の通報が約32%を占めている。」旨説明した。</p> <p>(9) 交通事故発生件数</p>	

「令和5年中の人身事故発生件数は9件（前年比－7件）、物損事故発生件数は308件（前年比＋31件）である。」旨説明した。

(10) 災害発生状況

「令和5年中の災害発生件数は0件（前年比±0件）である。」旨説明した。

3 協議内容

(1) 拾得物について

<委員> 拾得物が遺失者に返還される割合はどのくらいか。

【署長】 紀宝署では、拾得物の3割から4割が返還されている。

(2) 児童虐待について

<委員> 児童虐待が増加している要因を教えてください。

【署長】 子供に対する心理的虐待が増加していることが要因の1つである。

<委員> 児童虐待を認知した場合は、児童相談所等と連携して対応するのか。

【署長】 児童相談所等の関係機関と連携して対応している。

(3) 特殊詐欺について

<委員> 特殊詐欺の被害に遭った場合、お金が返ってくることはあるのか。

【署長】 犯人を検挙した場合や犯罪に利用された口座を凍結した結果、被害金が返還される場合もある。

4 講話（紀宝警察署生活安全刑事課捜査係長）

サイバー犯罪対策について

5 警察署長謝辞

備 考	報道機関 4社 4名
-----	------------